

表27 1年生のうち就業義務のある奨学金受給者数

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
公的奨学金	436 (12.0)	981 (7.4)	1,986 (16.7)	2,831 (21.7)	348 (10.3)	87 (16.0)	6,669 (14.5)
付属病院の奨学金	27 (0.7)	1,659 (12.4)	1,340 (11.3)	2,156 (16.5)	257 (7.6)	34 (6.2)	5,473 (11.9)
その他の就職義務のある奨学金	225 (6.2)	1,865 (14.0)	1,561 (13.1)	1,542 (11.8)	410 (12.1)	6 (1.1)	5,609 (12.2)
奨学金受給者の総数	962 (26.4)	4,575 (34.3)	4,771 (40.1)	6,202 (47.5)	1,149 (34.0)	230 (42.2)	17,889 (39.0)
1年生の在籍数	3,644 (100.0)	13,339 (100.0)	11,908 (100.0)	13,054 (100.0)	3,382 (100.0)	545 (100.0)	45,872 (100.0)
回答学校数	56	260	250	284	43	10	903

「准看学校」では、男性の在籍率が各課程の中で一番高く、8.8%である。1年生の退学者の割合が、5.3%と各課程の中で最も高い。寮がある学校は、4校に1校ほどしかなく、各課程の中で一番低い割合だが、学則により入寮しなければいけない割合は35.4%と、逆に各課程の中で一番高い。何らかの奨学金を受けている1年生の割合は、34.3%である。

「進学コース」では、男性の在籍率が5.6%であるが、定時制では8.0%の男性が在籍している。何らかの奨学金を受けている1年生の割合は、40.1%である。

「3年課程」では、男性の在学率は1.1%と低く、定時制においても2.5%である。寮がある割合は、各課程の中でも高い方で、83.7%の学校にある。奨学金の受給率は、各課程の中で一番高く、47.5%の1年生が奨学金の受給を受けている。

「短大」では、男性の在籍率が0.7%と1%にも満たない。寮があるのは3校に1校程度である。また、奨学金の受給を受けている1年生は、3人に1人程度である。

「大学」では男性の在籍率が3.9%である。寮がある割合は、90.0%と各課程の中で一番高いが、自由意志により入寮する学校が77.8%とほとんどである。何らかの奨学金を受けている1年生の割合は、42.2%である。

IV 在校生の就業

1. 就業数

学生が在籍しながら、病院や診療所にどのくらい就業しているのか（1年未満のアルバイトを除く）をまとめたのが、表28である。また、定時制の学校の学生について、同様にまとめたのが表29である。

「高校衛看」では、就業している学生が全体で162名しかいなかったが、就業している学生は、病院の

看護教育調査

表28 各学年における就業者数

		高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
1年生	実習病院	10 (16.9)	2,084 (18.5)	1,553 (25.9)	42 (10.7)	0 (—)	0 (—)	3,689 (20.8)
	その他の院	16 (27.1)	5,575 (49.5)	3,499 (58.4)	270 (68.5)	0 (—)	0 (—)	9,360 (52.9)
	診療所	33 (55.9)	3,602 (32.0)	936 (15.6)	82 (20.8)	0 (—)	0 (—)	4,653 (26.3)
	計	59 (100.0)	11,261 (100.0)	5,988 (100.0)	394 (100.0)	0 (—)	0 (—)	17,702 (100.0)
2年生	実習病院	1 (2.6)	2,032 (18.0)	1,486 (26.8)	28 (7.6)	0 (—)	0 (—)	3,547 (20.5)
	その他の院	9 (23.7)	5,542 (49.0)	3,245 (58.4)	270 (73.4)	0 (—)	0 (—)	9,066 (52.5)
	診療所	28 (73.7)	3,745 (33.1)	821 (14.8)	70 (19.0)	0 (—)	0 (—)	4,664 (27.0)
	計	38 (100.0)	11,319 (100.0)	5,552 (100.0)	368 (100.0)	0 (—)	0 (—)	17,277 (100.0)
3年生	実習病院	5 (13.9)	0 (—)	717 (21.9)	33 (10.4)	0 (—)	0 (—)	755 (20.9)
	その他の院	8 (22.2)	0 (—)	2,019 (61.8)	214 (67.7)	0 (—)	0 (—)	2,241 (61.9)
	診療所	23 (63.9)	0 (—)	533 (16.3)	69 (21.8)	0 (—)	0 (—)	625 (17.3)
	計	36 (100.0)	0 (—)	3,269 (100.0)	316 (100.0)	0 (—)	0 (—)	3,621 (100.0)
4年生	実習病院	5 (17.2)	0 (—)	0 (—)	20 (8.4)	0 (—)	0 (—)	25 (9.3)
	その他の院	5 (17.2)	0 (—)	0 (—)	152 (63.6)	0 (—)	0 (—)	157 (58.6)
	診療所	19 (65.5)	0 (—)	0 (—)	67 (28.0)	0 (—)	0 (—)	86 (32.1)
	計	29 (100.0)	0 (—)	0 (—)	239 (100.0)	0 (—)	0 (—)	268 (100.0)
全体	実習病院	21 (13.0)	4,116 (18.2)	3,756 (25.4)	123 (9.3)	0 (—)	0 (—)	8,016 (20.6)
	その他の院	38 (23.5)	11,117 (49.2)	8,763 (59.2)	906 (68.8)	0 (—)	0 (—)	20,824 (53.6)
	診療所	103 (63.6)	7,347 (32.5)	2,290 (15.5)	288 (21.9)	0 (—)	0 (—)	10,028 (25.8)
	計	162 (100.0)	22,580 (100.0)	14,809 (100.0)	1,317 (100.0)	0 (—)	0 (—)	38,868 (100.0)

就業者（59名：36.4%）よりも診療所の就業者（103名：63.6%）の方が多かった。また、「短大」と「大学」では、就業している学生がいなかった。それ以外の各課程では、病院の就業者の方が診療所の就業者よりも多く、また、病院別では、実習病院の就業者よりもその他の病院の就業者の方が多かった。

以上の傾向は、各課程の各学年においても、同様であった。

また、定時制の学校の学生の就業者に関しても、ほぼ同様な傾向を示していた。

表29 定時制の学校における各学年の就業者数 (再掲)

		高 校 衛 看	進 学 コ ー ス	3 年 課 程	全 体
1 年 生	実 習 病 院	10(16.9)	1,386(24.0)	42(10.7)	1,438(23.1)
	その他の病院	16(27.1)	3,469(60.2)	268(68.5)	3,753(60.4)
	診 療 所	33(55.9)	911(15.8)	81(20.7)	1,025(16.5)
	計	59(100.0)	5,766(100.0)	391(100.0)	6,216(100.0)
2 年 生	実 習 病 院	1(2.7)	1,326(24.9)	28(7.7)	1,355(23.6)
	その他の病院	9(24.3)	3,212(60.2)	267(73.2)	3,488(60.8)
	診 療 所	27(73.0)	797(14.9)	70(19.2)	894(15.6)
	計	37(100.0)	5,335(100.0)	365(100.0)	5,737(100.0)
3 年 生	実 習 病 院	5(14.3)	716(22.2)	33(10.4)	754(21.1)
	その他の病院	7(20.0)	1,990(61.7)	214(67.7)	2,211(61.8)
	診 療 所	23(65.7)	520(16.1)	69(21.8)	612(17.1)
	計	35(100.0)	3,226(100.0)	316(100.0)	3,577(100.0)
4 年 生	実 習 病 院	5(17.2)	0(—)	20(8.4)	25(9.3)
	その他の病院	5(17.2)	0(—)	152(63.6)	157(58.6)
	診 療 所	19(65.5)	0(—)	67(28.0)	86(32.1)
	計	29(100.0)	0(—)	239(100.0)	268(100.0)
全 体	実 習 病 院	21(13.1)	3,428(23.9)	123(9.4)	3,572(22.6)
	その他の病院	37(23.1)	8,671(60.5)	901(68.7)	9,609(60.8)
	診 療 所	102(63.8)	2,228(15.6)	287(21.9)	2,617(16.6)
	計	160(100.0)	14,327(100.0)	1,311(100.0)	15,798(100.0)
無 回 答 (学校数)		0	2	1	3
定時制学校総数		1	136	8	145

2. 就 業 率

(1) 全日制・定時制別就業率

全日制・定時制別に就業率を求めた結果が、表30である。

「准看学校」、「進学コース」と「3年課程」の定時制の学校では、全体の就業率が7割以上であった。また、これらの課程の学校では、「進学コース」と「3年課程」の定時制の最高学年を除いて各学年においても、7割以上の就業率であった。

「高校衛看」の定時制の学校でも、就業率は49.8%あり、学年をへるに従って、減少する傾向があった。

(2) 各学校ごとの就業率

各学校ごとの就業率をまとめたのが、表31である。また、定時制の各学校の就業率をまとめたのが、表32である。

看護教育調査

表30 各学年における全日制・定時制別の就業率*

		高校衛看		准看学校	進学コース		3年課程		短大	大学	全体	
		全日制	定時制		全日制	定時制	全日制	定時制			全日制	定時制
1年	在校生総数	3,546	88	13,339	4,233	6,113	12,565	489	3,382	545	37,620	6,690
	就業者総数	0	59	11,261	218	5,766	3	391	0	0	17,698	6,216
	就業率	—	67.0	84.4	5.2	94.3	0.0	80.0	—	—	47.0	92.9
2年	在校生総数	3,533	85	13,349	3,877	5,675	11,464	468	3,173	547	35,943	6,228
	就業者総数	1	37	11,319	210	5,335	3	365	0	0	11,533	5,737
	就業率	0.0	43.5	84.8	5.4	89.3	0.0	78.0	—	—	32.1	92.1
3年	在校生総数	3,526	75	0	0	5,180	10,829	413	3,012	558	17,925	5,668
	就業者総数	1	35	0	0	3,226	0	316	0	0	1	3,557
	就業率	0.0	46.7	—	—	62.3	—	76.5	—	—	0.0	62.8
4年	在校生総数	0	73	0	0	0	0	412	0	519	519	485
	就業者総数	0	29	0	0	0	0	239	0	0	0	268
	就業率	—	39.7	—	—	—	—	58.0	—	—	—	55.3
全体	在校生総数	10,615	321	26,688	8,110	16,968	34,858	1,782	9,567	2,169	92,007	19,071
	就業者総数	2	160	22,580	428	14,327	6	1,311	0	0	23,016	15,798
	就業率	0.0	49.8	84.6	5.3	84.4	0.0	73.6	—	—	25.0	82.8

註) *就業率=各学年の病院や診療所での就業者の計÷各学年の在校生の計×100

表31 各学校ごとの就業率*

	高校衛看	准看学校	進学コース	3年課程	短大	大学	全体
0%	61(95.3)	33(11.8)	113(42.8)	273(91.0)	43(97.7)	10(100.0)	533(55.5)
50%未満	3(4.7)	10(3.6)	14(5.3)	3(1.0)	0(—)	0(—)	30(3.1)
90%未満	0(—)	23(8.2)	50(18.9)	2(0.7)	0(—)	0(—)	75(7.8)
100%未満	0(—)	41(14.7)	26(9.8)	2(0.7)	0(—)	0(—)	69(7.2)
100%	0(—)	162(58.1)	53(20.1)	3(1.0)	0(—)	0(—)	218(22.7)
無回答	0(—)	10(3.6)	8(3.0)	17(5.7)	1(2.3)	0(—)	36(3.7)
学校総数	64(100.0)	279(100.0)	264(100.0)	300(100.0)	44(100.0)	10(100.0)	961(100.0)

註) *就業率=病院や診療所での就業者の総数÷在校生の総数×100

表32 定時制の学校ごとの就業率*

	高校衛看	進学コース	3年課程	全体
0%	0(—)	1(0.7)	0(—)	1(0.7)
50%未満	1(100.0)	7(5.1)	0(—)	8(5.5)
90%未満	0(—)	50(36.8)	2(25.0)	52(35.9)
100%未満	0(—)	26(19.1)	2(25.0)	28(19.3)
100%	0(—)	50(36.8)	3(37.5)	53(36.6)
無回答	0(—)	2(1.5)	1(12.5)	3(2.1)
定時制の学校総数	1(100.0)	136(100.0)	8(100.0)	145(100.0)

註) *就業率=病院や診療所での就業者の総数÷在校生の総数×100

「准看学校」と「進学コース」を除いた各課程の学校の9割以上が就業率が0%、すなわち、就業している学生がいなかった。

「高校衛看」においては、就業率『50%未満』ではあるが、3校（4.7%）で就業している学生がいた。しかしながら、全日制と定時制との就業人数から、全日制ではほぼ就業している学生はいないといえよう。このことは、「3年課程」においてもいえる（表30を参照）。

「准看学校」では、学生全員が就業している学校が、58.1%あった。

「進学コース」では、53校（20.1%）の学校の学生が、全員就業していた。しかしながら、この53校のうち50校（36.8%）が定時制の学校であった。

3. ま と め

以上より、各課程における在校生の就業の特徴をまとめると、以下の通りである。

「高校衛看」では、全日制の学生のほとんどが就業をしていない（2名のみ）。定時制の学生は、49.8%が就業している（全体では1.5%）。就業場所としては、診療所（63.6%）の方が病院（36.4%）に就業している学生よりも多い。

「准看学校」では、84.6%の学生が就業し、学生全員が就業している学校が58.1%もあり、各課程の中で一番割合が高い。就業場所としては、診療所（32.5%）より病院（67.5%）に就業している学生の方が多。

「進学コース」では、全日制の学生の5.3%ほどしか就業していない（全体では59.1%）。定時制の学生は、84.4%が就業しており、全員が就業している学校が20.1%ある。就業場所としては、診療所（15.5%）より病院（84.5%）に就業している学生の方が多。

「3年課程」では、全日制の学生のほとんどが就業をしていない（6名のみ）。定時制の学生は、73.6%が就業している（全体では3.6%）。就業場所としては、診療所（21.9%）より病院（78.1%）に就業している学生の方が多。

「短大」と「大学」では、就業している学生はいない。

V 学校 の 設 備

1. 特別な教室や部屋

看護教育にかかせない「実習室」、「実験室」、「調理実習室」、「演習室」、及び「その他の教員活動で利用できる部屋」、さらに、「専任教員室・研究室」や「非常勤講師の控室」について、専用・兼用別をたずねた。その結果が、表33である。

「実習室」は、各課程ともに9割以上の学校が設けていた。実習室を設けている学校のうち、専用の実習室を設けているのは、各課程ともに7割以上であった。